

## 医療・福祉マネジメント研究科 医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

日本福祉大学大学院は、日本ではじめて「社会福祉学」の研究科名称をもつ大学院として、1969年に開設され、発展してきました。大学院を巣立つ院生たちが働く医療・福祉現場では、いまや利用者の多様なニーズと経営上の課題の両方のマネジメントが求められています。その時代の要請に応え、医療・福祉現場に求められる幅広い専門知識と、高度なマネジメント能力を持つ人材を養成すべく「医療・福祉マネジメント研究科」を開設しました。医療・福祉現場の社会人が多く学ぶ、夜間制の大学院です。

### 1. 研究科の概略

課程名称： 医療・福祉マネジメント研究科 医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

授与学位： 修士（医療・福祉マネジメント） Master of Health and Social Services Management

開講形態： 夜間開講

定員： 30名

### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

医療・福祉マネジメント修士課程は、次に該当する者に修士（医療・福祉マネジメント）の学位を授与します。

#### 知識・理解

医療・福祉マネジメントの意義を社会的な関連の中で捉える科学的視点を身につける。

- ・医療・福祉におけるマネジメントの意義を例を用いて説明できる。
- ・医療・福祉マネジメントに関わる基礎的諸概念の応用例を示すことができる。
- ・自身の問題意識や関心をまとめるために必要な情報を収集することができる。
- ・論文執筆のために必要な研究方法論を理解することができる。

#### 思考・判断

医療・福祉組織における個人の役割を理解し、主体的かつ協調的に問題解決できる能力を身につける。

- ・医療・福祉組織における各構成員の役割と多職種連携の意義を把握できる。
- ・適切な解決策を見つけ、組織内での合意を形成し協調的に行動できる。

#### 技能・表現

専門職、あるいは管理者に要求されるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけ、問題解決に応用する能力を身につける。

- ・自らの考えを明確かつ論理的に組み立てて他者に説明し、意見交換できる。
- ・自らの研究成果を論文や報告書にわかりやすくまとめることができる。

#### 態度

医療・福祉分野の専門職、あるいは管理者としての正しい倫理観をもつ。

- ・基本的人権擁護の意義を説明できる。
- ・個人情報保護の必要性を説明できる。

## 2. 研究科の特徴

### 1) 福祉サービスマネジメントと医療福祉経営を学ぶ

これまで本学が培ってきた、社会福祉学と、経営学の両方のアプローチを学ぶことができます。この異なる2つの領域を統合することによって、それぞれの領域間のシナジー（相乗）効果を追求します。例えば「制度・政策の動向（マクロ）や、事業所・地域・NPOなどのマネジメント（メゾ）、臨床レベルの実践（ミクロ）」「医療福祉施設（組織・サービス）の管理運営と経営・会計の両面のマネジメント」などを学ぶことができます。

### 2) 医療・福祉現場の優れた実践例を学ぶ

従来からの実践理論や研究方法論の講義科目に加え、先駆的な優れた実践事例も学べるよう、医療・福祉現場から招いた実務家による講義や、ディスカッション、スーパービジョンをおこなう演習を開講しています。

### 3) ケース教材を用いた討論中心型の演習授業を導入(ケースメソッド演習)

ケースメソッド演習により、多様な背景を持つ多職種からなる院生との討論で視野を広げ、応用可能な実践的思考力・多面的な分析力・問題解決力・コミュニケーション力を養成します。

### 4) 修士論文に代わる「実践研究コース」を設置

研究力養成を目指す「特別研究コース」（修士論文執筆）とは別に、新たに、高度専門職業人のための実践力養成を目指す「実践研究コース」（ケースメソッド演習への参加と特定課題報告[レビュー論文1本と実践研究報告（A・B）2本の合計3本]執筆）を設けています。実践研究コースに所属することにより、修士論文執筆ではなく、特定課題報告執筆により、修士号を修得することができます。

### 5) 社会人が学びやすい土日の集中講義を開講

大学院の授業は主に、月曜日から金曜日の夜間（6限 18時25分～19時55分、7限 20時05分～21時35分）および土日を中心とした集中講義で開講されます。履修登録を工夫することで、平日2日+集中講義の受講で、必要な単位を修得することが可能となり、仕事をつづけながら修学することができます。

## 3. カリキュラム

医療・福祉マネジメント研究科では、読み、話し、書く力を開発します。専門科目を設けることによって、充実したカリキュラムを構成しています。

### 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

医療・福祉マネジメント研究科では、高度専門職業人の養成という教育目標を実現するため、以下の通り、講義系科目、演習系科目、研究指導科目の3つの科目群で教育課程を編成し、実施します。

#### 講義系科目

導入科目、基礎科目群、専門科目群で構成し、実践理論や研究方法論、先駆的な優れた実践事例の学びを通じて、研究課題の発見や研究課題の設定、研究方法など修士論文執筆のための基礎知識と医療福祉関連の諸分野の専門知識の修得を目指します。

#### 演習系科目

基礎演習、専門演習、ケースメソッド演習で構成し、医療・福祉領域のサービスマネジメントと経営の基礎について幅広い学びおよび多職種連携教育を通じて、複雑化・深刻化する問題に対応できる問題解決能力・実践力・教育力・マネジメント能力の修得を目指します。

#### 研究指導科目

研究力養成を目指す「特別研究コース」と、高度専門職業人としての実践力養成を目指す「実践研究コース」で構成し、論文執筆を通じて、研究力だけではなく実践現場の問題を多面的に分析し解決策を考える力、それらをまとめて言葉で他の人に伝える力など幅広い能力の修得を目指します。

## 1) 導入科目

研究や大学院生活をスムーズに進めるための導入科目です。多くの講師によるオムニバス形式の講義を通して、研究課題の発見・設定や研究方法を学びます。

## 2) 基礎科目

社会福祉領域、医療福祉サービス領域、医療福祉経営領域の院生にとっての基礎となる科目です。講義系の科目としては、それぞれの領域に対応する「福祉サービスマネジメント概論」(2 単位)、「経営管理概論」(2 単位)、「研究方法概論」(2 単位)の 3 科目を配置しています。これらの 3 科目は履修を推奨する選択推奨科目として配置しています。このほか、演習系・研究指導系の科目として、「基礎演習」(2 単位)、「研究基礎」(2 単位)の 2 科目(ともに必修科目)があります。

### ◆基礎演習

すべての領域に共通し、かつ、研究者にも高度専門職業人にも求められる能力の開発を目的としています。そのため、3 領域合同の授業と少人数の領域別授業の両方を組み合わせます。研究方法論についての統一導入講義や文献検索の実習、研究計画書の添削などを通して、研究方法論や「書く力」を鍛えます。また、多様な立場、異なる背景を持つ院生が合同して討論するケースメソッド演習を体験します。

### ◆研究基礎

主に先行研究や文献をまとめるレビュー論文(小論文)の執筆指導を行いません。実践や研究成果を文章にまとめる力は、研究者に限らず現場の高度専門職業人にも求められるものです。担当教員による添削など丁寧な個別指導を受けながら、実際に書くことによって文章作成能力を鍛えます。

## 3) 専門科目

専門科目の中には講義系科目と演習系科目があります。講義系科目には、社会福祉領域、医療福祉サービス領域と医療福祉経営領域、および領域に共通する科目が設けられています。各自の問題意識に応じて、これらの中から講義を選択して履修します。講義科目で得た知識や概念を討論などで実際に操作し身に付ける場が演習系科目です。演習は、1 年次の「専門演習Ⅰ」(4 単位)、2 年次の「専門演習Ⅱ」(4 単位)の計 2 科目が必修となります。

## 4) 研究指導科目

2 年次に研究科目として「特別研究」(4 単位)と「実践研究」(4 単位)を配置しています。いずれかを選択し履修します。

### ◆特別研究

研究力量の開発を目指す伝統のあるコースです。個別指導を受けながら修士論文を執筆します。

### ◆実践研究

福祉現場の高度専門職業人としての実践力の開発を主目的とし、集団で行うケースメソッド演習を軸に進めるコースです。この実践研究の成果は、個別の添削指導を受けて、特定課題報告(レビュー論文、実践研究報告 A、実践研究報告 B)としてまとめます。1 年次の研究基礎で執筆した「小論文」を書き改めた「レビュー論文」1 本と、この「実践研究報告 A」「実践研究報告 B」の計 3 本が、修士論文に代わる「特定課題報告」となります。

## 4. 修士学位取得までの流れ

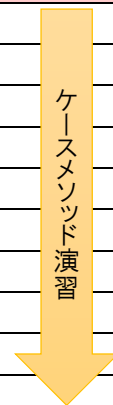
医療・福祉マネジメント研究科の修士学位取得までの流れを紹介します。1年次、2年次の年間スケジュールは以下のとおりです。

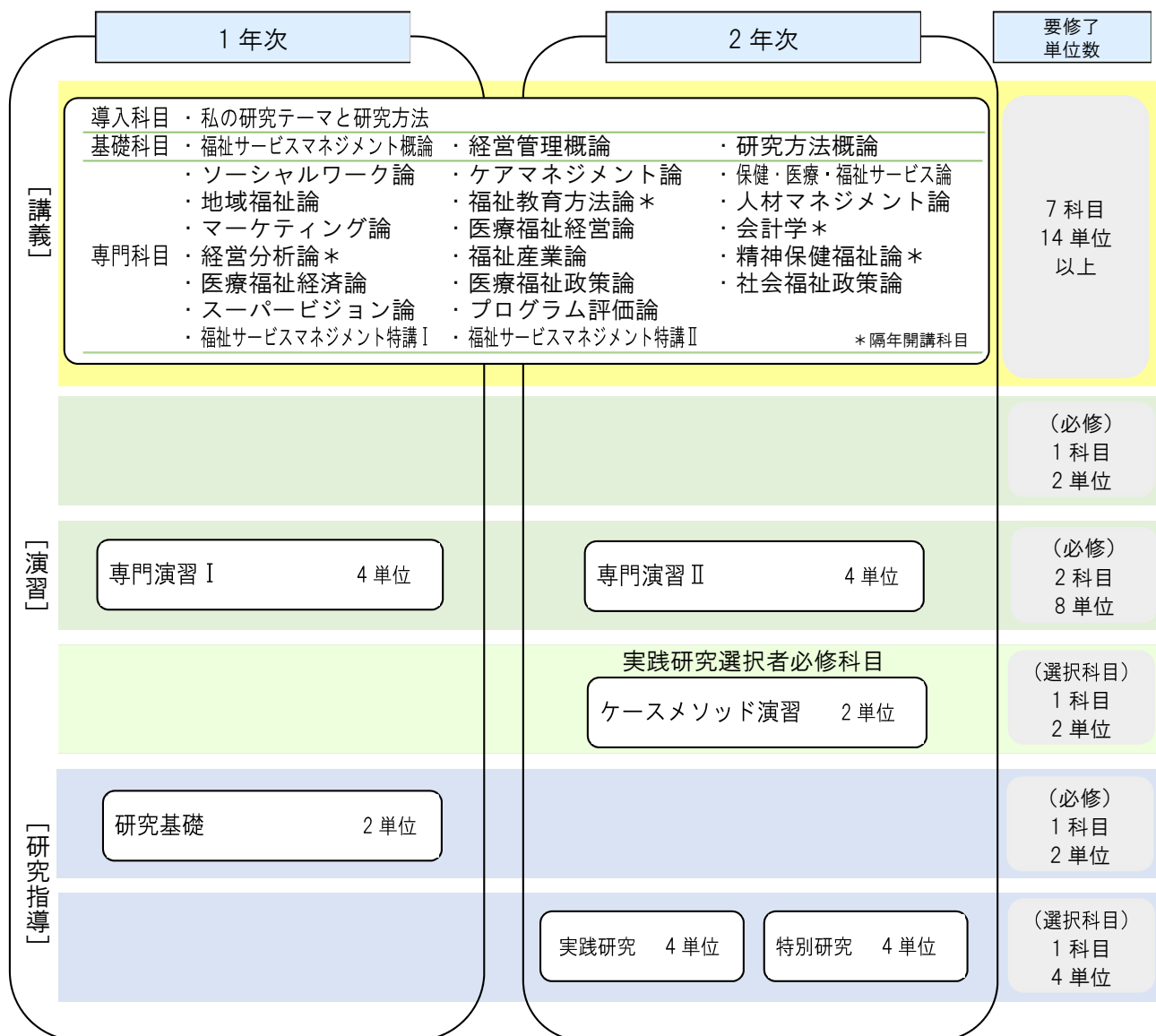
1年次 主要日程 ※年度によって異なる場合があります。

4月	前期授業開始
5月	【第1次研究計画書】提出 ※基礎演習担当教員の指導を受けて作成
6月	「研究基礎担当教員希望票」提出
7月	研究基礎担当教員決定
	前期授業終了
8月	
9月	後期授業開始
	【第2次研究計画書】提出 ※研究基礎担当教員の指導を受けて作成
10月	研究計画発表会
11月	
12月	
1月	後期授業終了
2月	【小論文】提出
	「コース・指導教員希望届」提出 ※コース:特別研究コースまたは実践研究コースの選択
3月	大学院合同修士論文発表会
	指導教員決定

2年次 主要日程 ※年度によって異なる場合があります。

	特別研究コース	実践研究コース
4月	前期授業開始	
	【第3次研究計画書】提出	
5月		
6月	研究中間発表会	
7月	前期授業終了	
8月		
9月	後期授業開始	
	【第4次研究計画書】提出	【実践研究報告A】提出
10月		
11月		
12月	【修士学位請求論文(第1次)】提出 ※特別研究コース選択者は、修士論文を提出。 ※実践研究コース選択者は、特定課題報告(レビュー論文1本+実践研究報告[A・B]2本、計3本)を提出	
	研究発表会	
1月	【修士学位請求論文(第1次)】提出 ※特別研究コース選択者は、修士論文を提出。 ※実践研究コース選択者は、特定課題報告(レビュー論文1本+実践研究報告[A・B]2本、計3本)を提出	
	修士学位授与最終審査【口頭試問】	
	後期授業終了	
2月		
3月	大学院合同修士論文発表会	
	学位記授与式	





2018 年 4 月時点